



《報道資料》

プレスリリース
2009年7月28日

Broadcom® Bluetooth®技術搭載 **LG 電子の新型デジタル・テレビ** **携帯電話やワイヤレス・ヘッドセットとの通信が可能に**

携帯電話からテレビへの画像や音楽の無線転送、テレビからワイヤレス・ヘッドホンへの音声のストリーミング転送で優れたユーザー・エクスペリエンスを実現

有線および無線通信向け半導体の世界的なリーダー企業であるブロードコム・コーポレーション（本社：米国カリフォルニア州アーバイン、Nasdaq：BRCM）は7月27日（米国時間）、LG Electronics（LG 電子）社が出荷しているデジタル・テレビ（DTV）の新シリーズに、ブロードコムの手掛ける Bluetooth® 技術が搭載されたことを発表しました。Broadcom® Bluetooth 技術により、ワイヤレス・ヘッドホンや携帯電話などの機器がテレビと接続され、LG 電子の新型 DTV では、ユーザーごとに操作が行える画期的な操作環境が実現されています。

Broadcom Bluetooth 技術の導入で携帯電話やヘッドセットとテレビの双方向接続が可能になり、消費者は高度な音声ストリーミング機能やデジタル・メディアの共有機能を堪能できるようになりました。将来的には、ブロードコムの技術により、テレビのリモコン、テレビをベースとしたウィジェットの入力デバイス（QWERTY 配列キーボードと携帯電話の接続）、さらに電子商取引のアプリケーションなどを携帯電話で利用できるようになると期待されています。

さらに LG 電子の新型 DTV では、MP3 対応の携帯電話や携帯型メディア・プレーヤー（PMP）のドッキング・ステーションとして、音楽や音声データをテレビのスピーカーから再生できます。また、デジタル写真などの画像ファイルを Bluetooth 対応のカメラ付き携帯電話からテレビに無線送信し、画面上に表示させたり共有することもできます。

LG 電子のテレビ製品本部長、ファーナンダ・スーマ（Fernanda Summa）氏は、「Bluetooth 技術はワイヤレス・ヘッドセットだけでなく、その他にも幅広い用途があるということが消費者に認識されつつあり、DTV への Bluetooth 技術導入は急速に進んでいます。Broadcom Bluetooth 技術により、搭載アプリケーションや家電用アプリケーショ



ンの特徴と機能をバランス良く活かすことができるため、ブロードコムが携帯端末専門技術で培ってきた高度なマルチメディア機能や低消費電力性能が実現できるのです」と述べています。

無線技術が DTV との関係を変える

これまで携帯電話やハンズフリー・ヘッドセットを中心としてきた Bluetooth 業界は、裾野が大幅に拡大しています。Bluetooth 接続により、MP3 プレーヤーやカメラ付き携帯電話に保存されているメディア・コンテンツを、DTV の高性能スピーカーや大型画面などで再生でき、ワイヤレス・ヘッドホンにストリーミングされる高音質の音楽を最大限にたのしめるようになります。ブロードコムでは、内蔵型 Bluetooth ソリューションの有効市場 (TAM) が、2012 年には 9 億 3800 万ユニットを越す規模に成長すると試算しています。

ブロードコムのバイスプレジデント兼ワイヤレス・パーソナル・エリア・ネットワーキング・ビジネスユニット本部長、クレグ・オチクボ (Craig Ochikubo) は、「今後、DTV などの家電製品に対する Broadcom Bluetooth 技術の導入が進めば、無線通信業界に新たなエコシステムが生まれ、携帯電話やワイヤレス・ヘッドセットなど Bluetooth 接続が可能な既存の製品も新たな役割を担うことになるでしょう。ブロードコムはこうした流れを後押しし、今後も LG 電子と連携しながら、消費者と Bluetooth 対応機器との関係を革新できると期待しています」と話しています。

Broadcom Bluetooth 技術

ブロードコムは Bluetooth 用の半導体ソリューションおよびソフトウェア・ソリューションを中心に、携帯電話、PC、ワイヤレス・ヘッドホン、ワイヤレス・ヘッドセット、周辺機器、ゲーム・ソフトなどの極めて多彩な製品群を持ち、既に 10 億を超える出荷実績を有します。ブロードコムの Bluetooth ソリューションの幅広い展開と機能の充実度は、高い評価を受けています。Broadcom Bluetooth 技術により、世界有数の家電メーカーや携帯電話メーカー、パソコン・メーカーも、快適で豊かな独自のユーザーエクスペリエンスを実現しています。

ブロードコムが提供する Bluetooth ソフトウェアは、プロトコル・スタック、アプリケーション・プロファイル、音声強調アルゴリズムおよび音声処理アルゴリズムをエンド・ツー・エンドで、業界屈指の完成度で統合することができます。



一方、インターネット動画などデジタル・コンテンツの利用が増加するにつれて家電へのWi-Fi®の導入も加速しています。Wi-Fiは家庭内のDTVやセットトップ・ボックス、Blu-ray Disc® プレーヤーのマルチメディアコンテンツへのアクセスを容易にします。ブロードコムは既に、自社で開発した複数の高性能ビデオ・プラットフォームに無線ハードウェアと無線ソフトウェアを統合しており、家電製品相互の無線接続に向けた開発にますます力を注いでいます。

*本件に関するイメージ図（英語のみ）がご入用でしたらstrategic-pr@kyodo-pr.co.jpまでお問い合わせください。

ブロードコムについて

Broadcom Corporation（ブロードコム・コーポレーション）は、有線およびワイヤレス通信向け半導体分野の主要な技術革新企業で、世界的なリーダー企業です。ブロードコムの製品により、家庭、会社、およびモバイル環境における音声、ビデオ、データ、マルチメディア機能の提供が可能になります。ブロードコムは、コンピュータ、ネットワーク機器、デジタル・エンターテインメント、ブロードバンド・アクセス製品、モバイル・デバイスのメーカーに、業界で最も広範な最先端システム・オン・チップ（SOC）およびソフトウェア・ソリューションを提供しています。これらのソリューションは、ブロードコムのミッションである“Connecting everything®”を支えています。

ブロードコムは、世界有数のファブレス半導体企業で、2008年度の年間売上は46億6,000万ドルを計上し、3,300以上の米国特許、1,300以上の外国特許を保有、さらに7,500以上の特許を出願中で、音声、ビデオ、データの有線と無線両方での伝送をサポートする広範なIPポートフォリオを擁しています。

フォーチュン500（Fortune 500）に名を連ねるブロードコムは、米国カリフォルニア州アーバインに本社を置き、北米、アジア、および欧州に拠点および研究施設を構えています。詳細情報は、www.broadcom.comに掲載されています。

*Broadcom®, pulse ロゴ、Connecting everything®, およびConnecting everything のロゴは、米国、EU、およびその他の国におけるBroadcom Corporation および（または）同社の関連組織の商標です。Bluetooth®はBluetooth SIG, Inc.の商標であり、Wi-Fi®はWi-Fi Alliance の商標です。記載されているその他の全ての商標は、各所有企業に帰属します。

見直し声明に関する注意



本リリースに含まれている、または参考として示されている声明は、過去の事実に関する声明あるいは説明を除き、すべて見通しに関する声明です。この見通し声明は、当社の業界および事業、経営陣の判断、および当社による特定の仮定に関する我々の現在の予想、推定および予測に基づいており、これはすべて変更される可能性があります。見通し声明は通常、「予期する」、「予想する」、「意図する」、「計画である」、「予測する」、「信じる」、「模索する」、「推定する」、「かもしれない」、「予定である」、「すべきである」、「つもりである」、「可能性がある」、「見込まれる」、「継続する」、「進行中である」などの表現や、これらの表現の変形または否定形によって識別できます。こうした見通し声明の例としては、Bluetooth 技術を組み込んだ家電製品の市場規模、Bluetooth 導入の動向、家電製品に対する需要、家電製品の市場における当社の地位などに関する記述などがあります。これらの見通し声明は、将来の結果を保証するものではなく、当社の実績がいずれかの見通し声明で表明された結果と著しくかつ不都合に異なる原因となりうるリスク、不確実性および仮定に左右されます。

InConcert 統合モジュールに関し、ブロードコムで上記の差異を生じさせる可能性のある重要な要因としては、次の要因がありますが、これに限りません。

- 当社の現在および将来の顧客およびエンドユーザーが家電製品にブロードコムの Bluetooth 技術を採用する割合。
- 各地域における無線ネットワーク市場の動向（当社製品が組み込まれた家電製品の売上げの季節性、国内外におけるテロ活動または武力衝突に伴って商業活動が阻害される可能性など）。
- 主要顧客、デザイン・ウィン、注文の獲得または喪失。
- 当社製品の売上高や大量販売時の値引き額。
- 市場の要求や新しい業界標準を適時、的確に予測する能力、および新規市場における市場機会を見極める能力。
- 競争圧力やそれに類する諸要因（競合製品や競合技術の認定内容、有用性および価格設定、それらが当社製品の売上げや価格設定に及ぼす影響など）。

ブロードコムの実績が見通し声明で表明された結果と著しく異なる原因となりうる他の要因は http://www.broadcom.com/press/additional_risk_factors/Q22009.php に記載されていますが、このリストは全要因を網羅したものではありません。

当社のフォーム 10-K の年次報告書、これに続くフォーム 10-Q の四半期報告書、フォーム 8-K の最新報告書、および他の米証券取引委員会への提出物において、前述のリスクや、上記の差異の原因となりうる、または当社の事業、業績および財務状態に影響を及ぼしうる他の重要なリスク要因が説明されています。本リリースの見通し声明は、現時点に限定された声明です。当社では、法律で規定されている場合を除き、いかなる見通し声明も公式に修正または更新する義務を負いません。

◆ 本件に関するお問い合わせ先 ◆

ブロードコムジャパン株式会社

丸山 敏郎

Tel: 03-5539-3100 / Fax: 03-5539-3101

◆ 報道関係のお問い合わせ先 ◆

共同PR株式会社

ブロードコム広報担当：

上瀧 / 福島 / 酒井

TEL : 03-3571-5302 FAX : 03-3571-5259

Email: strategic-pr@kyodo-pr.co.jp

